

# 護岸工事が完成



設移堤壘

## 千人殺しをイメージ 天端を拡幅 船倉地区の五ヶ瀬川右岸

国交省

歴史的な治水施設「壘堤」に配慮した延岡市船倉地区の護岸工事が25日、板田橋―五ヶ瀬橋間の五ヶ瀬川右岸で完成した。堤防天端を3.5倍に拡幅し、壘堤を川側に移設。自然石を使って城山の「千人殺し」をイメージした石積みを施し、天端部が反り上がった「忍び返し」風の護岸に仕上げた。

護岸工事は、築造から約80年が過ぎて老朽化した堤防の補修に合わせ、総工費1億5000万円で上流、下流側2工区に分けて施工した。延長220㍎の区間に敷設され

ている壘堤を取り外し、堤防天端を現在の1.5〜2倍から3.5倍に拡幅した

上、壘堤を川側に移動させた。さらに、堤防の内側に転落防止用の柵を設置、周辺の景観に配慮した塗装を施した。国交省延岡河川事務所河川管理課によると、護岸の色目を城山の石垣に近づけるため、日向市平岩の山中から切り出した自然石を使用。緩やかな

傾斜の護岸が急にせり上がり、「忍者でも登れない」とされる「忍び返し」武者返し。風に仕立てた。

壘堤が現存する五ヶ瀬川左右岸の堤防補強は、環境専門の大学教授や市民団体、区長、国交省、市などで構成する「壘堤プロジェクト」(平成26年発足)が、景観や完成後の利活用に配慮した整備方法を検討。これまでに船倉町―須崎町の五ヶ瀬川右岸堤防補修が完成。堤防天端が広がり転落防止柵が設置されたことで安全が確保され、壘堤見

学が可能になった。

壘堤は、河川が増水して浸水が予測されると壘を差し込んで越水を防いだとされる歴史的な治水施設。五ヶ瀬川と長良川(岐阜県)、揖保川(兵庫)の3カ所に現存する。五ヶ瀬川の壘堤(亀井橋―五ヶ瀬橋下流間の左岸約980㍎)は、大正末期から昭和初期にかけて建設され国内最古とされる。コンクリート製の枠の隙間に壘をはめ込むことで、堤防を一時的にかさ上げする目的で造られた設備で、歴史的価値が高く、デザインも優

れているとして平成22年に河川功労者表彰、同26年に水防功労者国土交通大臣表彰を受賞。同27年9月に土木学会選奨土木遺産に認定された。



# 追方の映像を石垣に

3/3

## 県北初 プロジェクションマッピング

延岡・城山

桜が咲き始めた延岡市の城山公園で22日から、夜桜電飾と千人殺しの石垣のライトアップが始まった。今年は県北初となる大型プロ

ジェクションマッピングが実施され、高さ約19層の石垣をスクリーンに追方ある映像が投影されている。4月7日まで。

ライトアップは延岡花物語の終盤を飾る「ワイワイ花物語」と題して実施。夜桜電飾は大手前から二の丸広場、本丸広場など

で毎日午後6時30分から同9時30分まで点灯している。複数のLED

Dライトをさまざまな方向から照射し、昼間とは一変して夜の景色に浮かび上がる幻想的な雰囲気を作り出している。

プロジェクションマッピングは「延岡を舞台に時空を超える」をテーマに、神話に登場するニギノミコト

とコノハナサクヤヒメの出会いや、石垣が崩壊するシーンなど追方の映像を音楽とともに演出。上映時間5分で、期間中の午後7時15分から同9時までの間に6回上映する。

また、4月5日夜はのべおか彩の会の協力で、一夜限りの光のオブジェが登場。和傘や竹灯籠で公園内にさらに彩りを加える。6日午前10時〜午後4時はワイワイグルメ博が開かれ、ステージイベントやグルメコーナーなどが予定されている。



延岡市の城山公園・千人殺しの石垣に投影された大型プロジェクションマッピングの一場面（21日の投射テストで）